

児童虐待認定状況等について

札幌市児童相談所における令和6年度の児童虐待認定件数は2,470件。前年度(2,627件)から157件(6.0%)減少。身体的虐待(前年度から18件減少)、ネグレクト(前年度から78件減少)、心理的虐待(前年度から62件減少)は前年度から減少傾向にあるが、性的虐待のみ増加。心理的虐待(1,287件)のうち、面前DVに伴うものは865件で、67.2%を占めている。

1 児童虐待認定の状況

(1) 虐待の内容

(単位:人)

	身体的虐待	性的虐待	ネグレクト	心理的虐待	合計	増減率
4年度	520 23.3%	24 1.1%	444 19.9%	1,241 55.7%	2,229 100.0%	-
5年度	663 25.2%	39 1.5%	576 21.9%	1,349 51.4%	2,627 100.0%	17.9%
6年度	645 26.1%	40 1.6%	498 20.2%	1,287 52.1%	2,470 100.0%	-6.0%

(2) 被虐待児の年齢構成

(単位:人)

	3歳未満	3歳～就学前	小学生	中学生	高校生・その他	合計
4年度	340 15.3%	602 27.0%	754 33.8%	331 14.8%	202 9.1%	2,229 100.0%
5年度	378 14.4%	693 26.4%	943 35.9%	386 14.7%	227 8.6%	2,627 100.0%
6年度	418 16.9%	495 20.0%	981 39.7%	358 14.5%	218 8.8%	2,470 100.0%

(3) 主な虐待者

(単位:人)

	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	合計
4年度	1,037 46.5%	200 9.0%	924 41.5%	8 0.4%	60 2.7%	2,229 100.0%
5年度	1,060 40.4%	228 8.7%	1,266 48.2%	17 0.6%	56 2.1%	2,627 100.0%
6年度	1,068 43.2%	153 6.2%	1,154 46.7%	19 0.8%	76 3.1%	2,470 100.0%

2 通告受付の状況

令和6年度の児童虐待通告件数は1,870件であり、昨年度から70件(3.8%)増加。虐待として認定した件数(1,099件)はわずかに減少(前年度比8件、0.8%減)。

通告経路では、警察からのものが938件と最多(面前DVに伴う心理的虐待の通告によるものが多い)。

(1) 児童虐待通告受付件数

(単位:世帯)

	通告件数	増減率	通告のうち虐待認定件数
4年度	1,574 (173)※1	▲14.7%	855 (6)※2
5年度	1,800 (159)※1	14.4%	1,107 (5)※2
6年度	1,870 (132)※1	3.9%	1,099 (5)※2

※1 ()は、児童相談所から各区に調査を依頼した件数で内数。

※2 ()は、児童相談所から各区に調査を依頼した案件において、区が虐待と認定した件数で内数。

(2) 児童虐待通告経路

(単位:世帯)

	家族			親族	児童本人	近隣・知人	福祉事務所・児童委員等	保健センター等	保育所・児童福祉施設等	医療機関	学校等	警察	その他	合計
	父	母	その他											
4年度	8	11	6	14	17	412 (173)※1	14	24	47	10	68	902	41	1,574 (173)※1
	1.6%			0.9%	1.1%	26.2%	0.9%	1.5%	3.0%	0.6%	4.3%	57.3%	2.6%	100.0%
5年度	19	16	4	33	18	431 (159)※1	8	34	54	24	159	972	28	1,800 (159)※1
	2.2%			1.8%	1.0%	23.9%	0.4%	1.9%	3.0%	1.3%	8.8%	54.0%	1.6%	100.0%
6年度	21	16	6	30	22	461 (132)※1	77	4	48	24	177	938	46	1,870 (132)※1
	2.3%			1.6%	1.2%	24.7%	4.1%	0.2%	2.6%	1.3%	9.5%	50.2%	2.5%	100.0%

※1 ()は、児童相談所から各区に調査を依頼した件数で内数。

※ 本資料において、計数(割合の部分)は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。